



環境工学講座

助教

さんこだ けん し
三小田 憲 史

博士(環境共生学)
(熊本県立大学・平25)

■経 歴

熊本県立大学環境共生学科生態・環境資源学専攻卒(平20.3) / 熊本県立大学大学院環境共生学研究科博士前期課程修了(平22.3) / 同博士後期課程修了(平25.3) / 日本学術振興会特別研究員(平24.4～平26.3) / スイス連邦工科大学チューリッヒ校 PD 研究員(平25.6～平26.3) / 熊本県立大学 研究支援員(平26.5～平27.2) / 埼玉大学大学院理工学研究科 助教(平27.3～令2.3) / 富山県立大学工学部 助教(令2.4～)

担当科目 環境物理化学および演習 / 環境水質実験 I

専門分野 水環境科学 / 環境化学

論文・報告

Aqueous photochemical degradation of mefenamic acid and triclosan: role of wastewater effluent matrices (Water Science and Technology, 2019)

水環境汚染の評価に向けた海洋マイクロプラスチックの分析 (分析化学, 2019)

Dynamics of dissolved organic matter in a wastewater effluent-impacted Japanese urban stream: characteristics, occurrence and photochemistry of fluorescent components (Water Science and Technology, 2018)

Aqueous secondary formation of brominated, chlorinated and mixed halogenated pyrene in presence of halide ions (Chemosphere, 2017)

所属学会 日本水環境学会、日本環境化学会

学会委員 第28回環境化学討論会実行委員

等 第20回環境化学討論会実行委員

受賞歴 日本水環境学会 博士奨励賞(オルガノ賞)(平24.9)

■現在の研究課題

人間の健康保護や環境保全に資するため、下記のようなテーマを中心に取り組んでいます。

- ・水環境中における有害物質の分布や変質等の動態の解明
- ・水圏マイクロプラスチックの環境挙動や汚染物質の蓄積、その環境影響等の評価
- ・水質汚濁の原因物質や発生源を評価するための簡便な測定手法の開発

■共同研究キーワード

水環境汚染対策 / 水処理評価